

(様式1)

令和2年5月12日

富山県教育委員会教育長 殿

富山県立桜井高等学校  
校長 吉田 幸市

## 令和2年度 学校経営計画

### 1 学校教育目標

「行学一如」の伝統的精神を継承し、「自主・協和・創造」の校訓のもと、自主的で協調性・創造性に満ちた人間の育成に努める。その達成のために、以下の3点を基本方針としている。

- ・ 責任と義務を自覚させ、良識ある判断力・強い意思力・実行力・忍耐力を育成する。
- ・ 品性の陶冶に努め、豊かな情操を培い、社会規範・秩序を守る精神を育成する。
- ・ 高い知性、すぐれた技術を身につけ、新時代に役立つ建設的・創造的態度の育成に努める。

### 2 学校の特徴

本校は、富山県下新川郡立農業学校として明治42年に創立して以来110年の歴史を有し、地域の期待を担い、生徒の進路目標の実現と社会性の育成を目指した教育活動を実施している。現在各学年、普通科、土木科、生活環境科の3学科で構成されている総合制高校である。

普通科では、ほとんどの生徒が国公立大学を中心とした4年制大学への進学を目指していることから、学力の向上を図る教育課程を編成実施している。土木科では、体験的な学習や課題研究などを通して、土木に関する専門的な知識・技術の習得と社会性、実践力を身につけさせ、進学または就職の希望進路を実現する教育課程を編成実施している。また生活環境科では、教科「家庭」に関する専門科目を学習し、生活産業のスペシャリストとして活躍できる人材の育成を目指している。

各学科の枠を越え互いの特性・特徴を理解し合い、集団活動を通じた人格の陶冶を目指して、特別活動や部活動の指導、生活指導等にも力点をおき、全教職員の共通理解に基づく教育活動に取り組んでいる。

### 3 学校の現状と課題

素直で礼儀正しく真面目に学習にも取り組むが、自主性、主体性にやや欠ける生徒が増えている中、将来に対する明確な展望と目標を持たせるとともに、自ら設定した目標に向け、意欲的に取り組むことが求められている。また、国際友好都市を目指す地域の特性を生かし広い視野を持った生徒の育成に努めている。

これらの観点から、本校では「自立を目指し、自ら学び考える態度や豊かな心を育み、生きる力を培うとともに、調和のとれた国際感覚を育てる」を学校課題として掲げ、教育諸活動を推進している。

(様式 2)

4 学校教育計画

項目		目標・方針及び計画	
(1)	学習活動 <b>重点1</b>	目標	<ul style="list-style-type: none"><li>生徒の進路志望の実現や学力の伸長を図る教育課程を編成する。</li><li><b>基礎学力を定着させ、資格取得や進路実現への意欲をいっそう喚起する教科指導の改善を図る。</b></li></ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"><li>各学科の特色を発揮できる教育課程編成について検討し、改善を行う。また、学校設定科目を有効に活用し、本校生徒の実態に適切に対応する。</li><li>ICT 機器の効果的な活用や互見授業、授業アンケートなどを通して、学力を効果的に伸長する指導方法を検討し実践する。</li><li>総合的な探究の時間における国際理解教育の一層の推進を図る。</li></ul>
(2)	学校生活 <b>重点2</b>	目標	<ul style="list-style-type: none"><li><b>品位ある服装・挨拶ができる望ましい生活習慣を形成する。</b></li><li>交通安全意識の高揚と交通マナーを向上させる。</li></ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"><li>服装指導や挨拶運動に積極的に取り組む。</li><li>遅刻指導を実施し、望ましい生活習慣の確立を支援する。</li><li>自転車通学の生徒に対して、交通ルールの遵守、交通マナーの心がけを促し、事故防止に努める。</li></ul>
(3)	進路支援 <b>重点3</b>	目標	<ul style="list-style-type: none"><li><b>生徒の進路に関する意識や学習に取り組む意欲を高め、一人ひとりの生徒の進路目標を実現する。</b></li></ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"><li>進路講演会や進路ガイダンス、「総合的な探究・学習の時間」や HR で行う進路学習等を通して、具体的に考える機会を設定する。</li><li>「先輩の体験を聞く会」や高大連携などを活用し、進路目標設定の啓発の場や機会を設定する。</li><li>学習の記録や手帳を活用し、生徒の家庭学習の実態把握に努める。</li><li>進路目標実現に向けて、生徒が担任のみでなく学年・学科・進路指導部が連携して面談をし、その情報を共有して指導に反映するよう計画する。</li><li>保護者との連携を図るために、講演会や学年懇談会への出席を促し、本校の進路指導に対する理解を求める。</li><li>大学入試共通テストを含めた入試制度変更への研究の充実を図る。</li></ul>

項目		目標・方針及び計画	
(4)	特別活動 <b>重点4</b>	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>部活動の活性化を図る。</u></li> <li>・ <u>ホームルーム活動、部活動などを通して自主的、実践的な態度を育成する。</u></li> </ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームルーム活動、部活動を活発化し、様々な集団での所属感や連帯感を高め、集団の中で個を高められるよう援助する。</li> <li>・ 生徒会活動や体育大会、球技大会などで生徒が主体的に活動する体験を積ませる。</li> </ul>
(5)	その他 図書館活動 研修旅行 <b>重点5</b>	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読書を通して生徒が多様な分野に興味を持てるようにする。</li> <li>・ <u>生徒図書委員会活動の充実を図り、図書館活動を活性化する。</u></li> <li>・ <u>2学年で実施する研修旅行を充実したものにする。</u></li> </ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読書ノートを全生徒に配布し、読書への意欲を喚起する。</li> <li>・ 朝読書、総合的な学習の時間の読書指導で読書習慣を涵養する。</li> <li>・ 定期的な広報活動を充実させ、図書館と生徒の距離を近づける。</li> <li>・ 進路指導部と連携して県外研修の事前指導・事後指導を効果的に行う。</li> <li>・ 外国人講師や海外で活動している方の授業等を受けることにより、国際的な視野と考え方を養う。</li> </ul>
	保健厚生	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒の健全な心身を育てる。</li> <li>・ 安全で健康的な学習環境を整える。</li> </ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康診断の結果に基づいて、事後指導を推進する。</li> <li>・ 支援を必要とされる生徒に対して、チーム支援会議を適時に開催し、該当生徒へのきめ細かい支援を行う。</li> <li>・ 月末大掃除、各学年のペットボトル・缶回収当番など、生徒保健委員会を中心とした美化活動を推進する。</li> </ul>
	土木科	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格取得の充実を図る。特に測量士補試験で90%以上（2年次）、2級土木施工管理技術検定（3年次）で90%以上の合格を目指す。</li> </ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次の10月より週2回の放課後補習、4月より朝と7限以降の補講を毎日実施する。3年次、課題研究の中で取り組む。放課後に6～7回の模擬試験を実施する。</li> </ul>
	生活環境科	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭科技術検定の各種試験で90%以上の合格を目指す。</li> <li>・ 専門教科の学習と多様な活動を通しての体験を積み重ね、将来スペシャリストとして活躍するための基礎を身につける。</li> </ul>
		計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝学習及び休日等の課題学習及び土曜補講を通して、各種検定の指導を行う。</li> <li>・ 施設訪問実習や家庭クラブ活動を通して体験的な学習を行う。</li> <li>・ 専門技術者による講習等の機会を設ける。</li> </ul>

(様式 3)

5 今年度の重点課題 (学校アクションプラン)

令和2年度 桜井高等学校アクションプラン — 1 —	
重点項目	学習活動
重点課題	・自主的・意欲的な学習態度の育成と学習時間の確保
現 状	・授業はまじめに受けているが、予習復習を含めた自主的・意欲的な学習時間の不足が見て取れる。 ・専門学科では各種の検定を積極的に取り組んでおり、一定の成果をあげている。
達成目標	①【普通科生徒対象】 学習時間(平日)が2時間以上の生徒の割合 80%以上 ②【土木科生徒対象】 測量士補試験・2級土木施工管理士試験合格率 ----- それぞれ90%以上 ③【生活環境科生徒対象】 家庭科各種検定合格率 ----- 90%以上
方 策	・学習の記録や授業アンケート、面接を通して家庭学習の意義や必要性を促していく。 ・ICT機器の活用等、授業改善に一層取り組む。 ・総合的な探究の時間等における国際理解教育を一層推進する。 ・HRや進路学習などから資格取得や進路実現への意欲を喚起していく。 ・手帳を活用して授業や課題に計画的に取り組ませ、課題等を確実に提出させる。

(評価基準) A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった

令和2年度 桜井高等学校アクションプラン — 2 —	
重点項目	学校生活 (品位ある服装・挨拶ができる望ましい生活習慣の確立)
重点課題	・SNS等の正しい使い方 ・挨拶の励行と品位ある着こなし
現 状	・SNS等に安易に画像や情報をアップする行為が見られる。また、誹謗中傷などトラブルが発生している。 ・短いスカートなど、制服の着こなしに乱れがある生徒は、かなり減ってきているが、継続して指導をしていく必要がある。衣替えの時期には校章の付け忘れなどが目立っている。また、明るく挨拶をする生徒も多くなったが、さらに徹底できるようにしていきたい。
達成目標	① SNSの危険性を理解しながら活用していると答える生徒の割合 ----- 95%以上 ②生徒玄関での着こなし指導で、スカート丈、ズボン等で注意を受けた回数 ----- 各学期に10回以下
方 策	・全校集会やHRで正しい使い方やネットの危険性を指導する。また、保護者に協力してもらい、家庭でのルールを考えてもらう。 ・年間を通して登校時、玄関指導を実施し、挨拶や品位ある制服の着こなしの徹底を図る。

(評価基準) A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった

令和2年度 桜井高等学校アクションプラン — 3 —	
重点項目	進路支援（進路について関心を高め、進路目標実現を支援する）
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路目標の早期明確化と実力養成</li> <li>組織的かつ計画的な、生徒の実態把握の推進</li> </ul>
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の記録や面接によって生徒の実態把握に努めているが、進路目標の設定ができず、見通しを持って計画的に学習に取り組むことができない生徒がみられる。</li> <li>受験を意識した学習に取り組む時期が遅く、学習時間が不足している。</li> </ul>
達成目標	①全生徒が、進路や学習について複数の教員と面談し、進路目標実現に向けて考える機会
	②卒業時点で、進路についての学習や取り組みが自分の成長に役立ったと考える生徒の割合
	1・2学年 年間5回以上
	3学年 年間10回以上
80 %以上	
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習状況や行事の振り返りシートを学年や関係者で共有し、生徒の現状把握に努める。</li> <li>面談後、学年や関係者で情報を交換できる場を設定し、生徒一人ひとりに対する個別指導をより充実させる。</li> <li>外部模試等の結果はその都度、教員間で共有し、問題点について学年会や検討会等を通して共通理解を図る。</li> <li>生徒の週課題への取り組みを調査し、量と質の適正化を図り、家庭学習を充実させる。</li> <li>進路講演会、大学出前講座、卒業生の報告会、職業体験会などを実施して意欲の向上を図る。</li> </ul>

（評価基準） A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった

令和2年度 桜井高等学校アクションプラン — 4 —	
重点項目	特別活動（望ましい集団活動を通じて自主的・実践的な態度を育てる）
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の活性化</li> <li>ホームルーム（HR）活動の充実</li> </ul>
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の加入率・活動状況ともに高い水準を保っていたが、新型コロナウイルスの影響で思うように部活動ができず、学校全体の活性化につながらない。</li> <li>HR活動では、生徒の自主性を尊重し、主体的な活動になる内容を模索している。</li> </ul>
達成目標	① 部活動に対する満足度
	② HR活動が学校生活の充実につながったと感じる生徒の割合
	80 %以上
	80 %以上
	HR活動に積極的に参加した生徒の割合
	80 %以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>部長会議でリーダー研修を行う。</li> <li>各部員たちが必要な課題を話し合い、安全で適切な部活動ができるよう取り組んでいく。</li> <li>HR活動の内容の例を示し、計画させる。</li> <li>計画、運営、振り返りができるように記録用紙を活用させる。</li> </ul>

（評価基準） A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった

重点項目	その他	
重点課題	図書館利用の活性化	2学年研修旅行の充実
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会の活動によって、図書館利用者が増加し貸出数も徐々に伸びてきているが、本を借りる生徒は固定化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路設計に向けて、生徒の関心・意欲を高めることを目的として実施している。この研修は、生徒の進路希望状況や各科の専門性も考慮したうえで企画・立案し、実施している。</li> </ul>
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間貸出数 1,100冊以上</li> <li>・年間利用者数 3,300人以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路に対する関心・意欲が高まった割合 80%以上</li> </ul>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会活動を通して、生徒が図書館を利用したくなる工夫をし、利用者の拡大を図る。</li> <li>・幅広いジャンルの本を購入する。</li> <li>・授業やホームルーム活動での利用を働きかける。</li> <li>・長期休業前に、出前図書館を設け、貸出数増加につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路希望や適性、社会情勢などを勘案し、より最適な研修を立案する。</li> <li>・生徒が研修に対して目的意識を持って積極的に参加できるように、事前学習の時間を計画的に位置づけ、指導する。</li> <li>・進路意識を高めると共に、学習意欲と資格取得への意識が高まるように指導する。</li> <li>・めまぐるしく変化する社会を担う世代であることを意識させることができる活動なども取り入れる。</li> </ul>

(評価基準) A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった